

行けばわかるさ

読書の小径 こみち No.108

土岐市図書館 ☎ 1253

「タイタニック号」



4月15日は豪華客船タイタニック号が沈没した海難事故から、ちょうど百年になります。映画や小説でもありにも有名なこの事故にまつわる本を紹介します。

1955年に発表されたウォルター・ロイド『タイタニック号の最期』。事故から40年以上たっていました。まだ乗船者や救助活動に関わった生存者は多く、その談話や資料を基に、忘れえぬその夜の悲劇を再現しました。祖父がタイタニック号に乗っていた唯一の日本人・細野治臣の解説付きです。

海に浮かぶ宮殿と謳われたタイタニック号の「食」の魅力を、多数の貴重な図版とともに紹介するのが、リック・アーチボルト(他)『タイタニックの最後の晩餐―豪華客船のディナーとレシピ』です。タイタニック号は最新鋭の厨房設備を備え、80人のスタッフが24時間体制で、日に6千食近い食事を用意していました。上流階級のみが開かれた一等食堂から、質実で内容重視の料理を出した三等食堂まで、タイタニック号のメニューが蘇ります。コーニー・ウィリス『航路上・下』。死の謎に正面から挑むヒューマンサスペンスです。

「臨死体験―自然科学の探究する客観的事実」と、人の心が欲してやまない主観的現実の狭間で揺れ動く、今もとても興味深い謎のひとつ。その解答をお求めですか？でしたら、何をしても本書をどうぞ。大嵐のようなストーリー展開に翻弄されても、けっしてこの船は沈まず、すべての謎が解き明かされる感動のラストへと、必ず貴方をお連れします。「宮部みゆき(本書帯)。タイタニックとの関わりは読んでのお楽しみに。」

新刊紹介

書名	著者
特別授業3・11君たちはどう生きるか	あさのあつこ(他)
百姓たちの幕末維新	渡辺尚志
政権交代とは何だったのか	山口二郎
獣医さんが教える手づくり愛犬ごはん	小林豊和
茶道具に見る日本の文様と意匠	森川春乃
英語で話すヒント―通訳者が教える上達法	小松達也
てのひらの父	大沼紀子
漢詩を読む4 陸游から魯迅へ	宇野直人

図書館だより

図書館には英字新聞「The Daily Yomiuri」があります。読売新聞に掲載されるニュースや解説記事などが翻訳掲載されますので、英語と日本語で読み比べできます。また、英文法解説や時事英語クイズ、読者参加型の翻訳コンテストなどのコーナーもあり、小学校英語からビジネス英語まで、英語学習にも役立ちます。どうぞご活用ください。

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※○が休館日です

開館時間

火～金曜日……………10:00～19:00
土・日曜日、祝・休…10:00～17:00
※図書館のご利用は無料です